



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教110~120周年
標語

共に生きる
いのちの天幕を
広げよう

1963年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月一日発行)

2020年10月1日 (木) 第799号

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398 info@kccj.jp
発行人/ 趙永哲・編集人/ 金柄鎬

印刷所 青丘文化社

説教

苦難をも誇りとして生きる

<ローマの信徒への手紙5:1~4>

林 鮮 享 牧師 (東京第一教会)



本文3節には「苦難をも誇りとしす」と記されています。苦難の全てが無くなれば、喜びとなるとは聖書は伝えている訳ではありません。この3節にある「苦難をも誇り」とは、一体どういう意味が込められているのでしょうか？

1節「このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、」と記されています。それゆえに、私たちがキリストを信じる信仰によって義とされ、神様との関係において平和を得たということです。私たちがたとえ苦難の中にあっても誇りとして生きることができると聖書は語っています。以前は神様に背を向けて離れ、不従順だった私たちが父と子の関係までに回復したということです。今では私たちは、父なる神様の約束を信じて生きていく子供となりました。それでも、苦難を誇りとして感謝できない理由は何なのでしょう？

それを喜びとして感謝しないのではなく、感謝する理由を見出せないからです。神様の御言葉に従順になれず、それゆえに感謝できないのです。「常に主を覚えてあなたの道歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐしてくださる。」<箴言36>と約束してくださいました。

聖書は、私たちが神様の約束を信じて、感謝のある生き方をしていく時に、神様が責任をとってくださり、私たちが恥ずかしめられないように導いてくださるという約束の御言葉で満ち溢れています。長い間、私たちはその約束を信じて生きてきたからこそ、神様は約束を必ず守ってくださる方だということを悟ようになりました。その神様への信頼があるからこそ、今日も私たちの心が平安で満たされ、喜びと感謝をもって生きていくことができるのです。

私たちは苦難に遭った時に、自分の考えや経験に照らし合わせて、これは正しいとか正しくないとか自分中心に判断してしまう時があります。そうやってしまえば、いつのまにか神様の恵みが自分から離れ去ってしまいます。喜び、平安が失われ、魂がどんどん枯れて死んでいるような状態になっていきます。

3~4節の御言葉に「そればかりでなく、苦難をも誇りとしす。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。」

今日の本文で「苦難」と訳された言葉はヘブライ語で「押しつぶされる」という意味があります。この世で真実に生きていく時、私たちの心は何かで押しつぶされることが多くあります。しかし、これらすべてのことが当然のこととして起こる理由があります。私たちに對する苦難、それは苦難を用いて神様のご計画と愛の中で、より深い信仰者へと作り変えられていく導きだということを悟ってくるようになる

のです。感謝の生活を送る私たちに、神様は必ず救いと助けをもって報いてくださいます。その約束された御言葉を私たちは信じるべきであります。たとえ苦難の中にあっても、私たちは神様から与えられる祝福を受け入れ、感謝に満たされ、喜びと平安で一日一日を神様と共に歩んで行きましょう。やがては天国に迎えられる救いの希望を胸に信仰生活を送って生きましょう。

苦難に遭っても、病気を患っても、事故に遭っても、かろうじて生きることができても、死を迎えることがあっても神の摂理を信じて感謝を告白することができる人は、祝福であります。しかし神様の摂理を信じてできない人には呪いとなることでしょう。苦難と患難を与えてくださった神様の御心とその意味を悟れない人には滅亡に至る原因となることでしょう。私たちがお金を払っても買うことができない神様の崇高なご計画の中に私たちは導き入れられ、そのことが私たちへの祝福となるのです。苦難を通して、培われた感謝と恵みを忘れない心で生きる人は、死でさえも私たちに打ち勝つことができませぬ。

同じ時代、同じ世の中で生きて、同じものを見ても、同じことを聞いても全ての人が同じように等しく感じているわけではありません。悟っている事柄に違いがあります。何の差によって違いがあるのでしょうか？最近のネット記事から、苦難を経験されたが、感謝の言葉を述べている方々を多く見つけることができました。それならばクリスチャンにとっての幸せとは何と定義づけることができるのでしょうか？

真の神様を求めていくことが私たちの人生の幸せであるということです。神様に会えることができた私たちの人生が幸せなのに、それを知らなければ、未来は何が幸せなのでしょう？神様の約束を信じて従い、御言葉を必ず成就して下さる神様を疑わずに委ねることです。御言葉が必ず実現されることを信じて日々生きていくことこそが、真の幸せをつかむクリスチャンになれるのです。

どんなに素晴らしい良い治療薬があったとしても真の治療薬は、生命の源である心の平安と喜びと感謝であります。コロナ禍と自然災害の多い地に住んでいる私たちは、(フィリピ4章4~7節)を胸に刻んで、御言葉を必ず成就して下さる神様を見上げて、神様から与えられる平安が、皆様の喜びとなって満たされることを心より祝福します。

今年たくさんの災難が起こり苦難の中にあっても、苦難から導かれる神様がおられるからこそ、私たち信仰者は「ただ恵み、ただ感謝」と信仰告白ができるのです。そして、この世の最後がやってきても、私たちの真実の告白は「すべてが恵みであり、すべてが感謝です」と神様によって導かれるようになるのです。

第1回常任委員会を開催

コロナの影響でオンライン会議で開く

今年の4月に開催予定であった第55回期第1回常任委員会はコロナ・ウイルス感染の事態により延期され、9月29日(火)にZOOMを用いたオンライン会議での開催となった。

会議は午前9時から3時間にわたって大阪教会で開かれ、趙永哲総会長、中江洋一副総会長、梁榮友書記、金柄鎬総幹事ら及び、大阪教会の近隣の委員が数名集まり、大部分の委員は各自の家庭または教会にてオンラインで会議に参加した。

趙永哲総会長の開会礼拝説教に続き、全会員24名中21名が出席し、報告や重要事項を決定した。

報告の多くは事前に郵送で報告書を配ったが、宣教委員会が10月11日(主日)19:00~21:00に、「コロナ時代におけるKCCJの宣教」という題でZOOM討論会を開催するということ、神学考試委員会が前日(9月28日)に行った宣教師加入考試および伝道師考試に関して宣教師1名が合格したこと、伝道師2名が筆記試験および面接に合格し、12月8日に説教試験を実施する旨が報告された。

重要な決定事項は以下の通りである。

- (1) 委員会による決定事項の事後承認に関して、コロナの影響で4月14日に予定されていた第1回常任委員会の中止および延期、ZOOM会議による開催、浪速教会と豊中第一復興教会が要請した宗教法人設立に関する件を承認した。
- (2) 讚美歌委員会が要請した欠員による委員補充の件は、金伸禹牧師と金聖泰牧師(推薦)を承認した。
- (3) 西南KCCが要請した理事増員承認の件は、趙顯奎牧師と李恩玉勸士を承認した。

(4) 西部地方会が要請した西宮教会と姫路薬水教会の宣教負担金減免の件は、財政委員会から「他の個教会や地方会と公平さに欠ける」との意見をを受け地方会が責任をもって個教会と協議し解決しなければならないとして否決した。なお、総会の財政健全化のために財政委員会で過去の各種議事録を精査し、将来的に財政規定を明確にすることで同じ議論が繰り返されないようにすると確認した。

(5) 平和統一会議準備委員会が要請した第9回「祖国の平和統一と宣教に関するキリスト者東京会議」の名称を「韓/朝鮮半島の和解と平和を祈る韓国/朝鮮/日本キリスト者会議」に変更する件は、委員会で再度検討し次回の常任委員会に提案することとした。

(6) カナダ連合教会からKCCJに贈られた、キャピタル・プロジェクト基金2400万円の管理および運営に関しては、任委員会が提案した、管理は総幹事(事務局)、運営は総幹事と任委員会が協議することとし、常任委員会ならびに定期総会に監査を受けて報告することを承認した。

(7) この度のコロナ禍に起因する地方会の定期総会、常任委員会、定期総会に関する規則追加の件は、「紛争、自然災害、伝染病などにより会議が開催できない時にはオンラインによる会議を開くこともできる」という項目を憲法ならびに規則へ追加することを憲法委員会に委託し、次回の常任委員会に提案することとした。

(8) 次回、第56回定期総会の認定に関する件は、2021年10月10日(主日)18:00~10月12日(火)会場は東京教会とすることを承認した。

(9) 2020年度の決算報告を承認し、2021年度予算案は収支の差異を訂正し承認した。

(10) 次回の常任委員会は、2021年4月6日(火)11:00~18:00に大阪KCC会館にて開催することとした。

青年会
全国協議会

第58回定期総会 開催

リモートで行い乾春紀氏を新会長に選出



9月26日(土)9時から青年会全国協議会の第58回定期総会がZOOMによるリモートで開催された。

開会礼拝では、総会信徒委員長の李明忠牧師が「私の主なる神は我が力」(ハバクク書3:17~19)という題目の説教を行った。

総会に移り、2019年度の活動内容・総括を各部・各地方・各担当から受けてから新役員選挙が行われた。

2020年度は代表:乾春紀、副代表:柳町静江、総務/書記:柳町聡を筆頭に、その他5人の青年を各部に迎えることとなった。

締めくくりとして、金容昭牧師任を招き、閉会礼拝の時間を持った。「できることを(詩篇34:24)」という題目で説教を頂き、総会は終わった。

新しくスタートする1年間を神様をいつも中心に置き、神様に喜ばれる活動となることを心から願い、新しく奉仕活動をしていく。

(報告:乾春紀)

宣教師加入考試、伝道師考試実施

宣教師1名、伝道師2名が考試受ける

神学考試委員会(委員長:金聖孝牧師)による宣教師加入考試及び伝道師考試が行われた。人数少ない志願者であるが、宣教師1名、伝道師2名が考試を受けた。

宣教師加入考試には、大韓イエス教長老会(白石)から派遣され中部地方会の千曲ビジョン伝道所にて牧会している金炯振牧師が合格し、伝道師考試は関東地方会のハンサラン教会の張聖神学生と、関西地方会の布施教会の咸美羅神学生が筆記試験と面接を通過し、12月8日の説教試験を残している。

神学生・宣教師研修会開催

3月に開けずリモートで開き、4名が参加

3月に行う予定の2020年宣教師と総会神学生の研修会が、9月6日、主日の夕方から10日(木)までリモート研修会として行われ、宣教師1名、神学生3名が参加した。

教育科目としては、在日大韓基督教会の神学と宣教理念、歴史、憲法と規則、在日同胞や在日大韓基督教会の歴史、日本のキリスト教会の神学、教会史、エキュメニカル神学、在日大韓基督教会における牧会、儀式と礼典などが講義された。

今回の研修会に参加した研修生は、金炯振牧師(白石、千曲ビジョン伝道所)、李銀珠神学生(ハンサラン教会)、張聖神学生(ハンサラン教会)、咸美羅神学生(布施教会)、鄭詩温神学生(大阪教会)



讚頌歌委員会より「子どもさんびか」が発行されました。

主の祈り・使徒信条・交読文・十戒 集録
(いずれも韓国語・日本語)

一冊1,000円

お問い合わせは総会事務局へ

電話 03-3202-5398



特集 新型コロナ19の感染危機と教会礼拝現状

関東地方会 東京第一教会

林 鮮亨 牧師

6月からソーシャルディスタンスを考慮し、指定席を設け、礼拝は人員を分散して指定席にしました。また、オンラインでも礼拝を一緒にしています。

教会内外は週末に消毒して、礼拝の時間の間に消毒、出入りの際には手を消毒します。予備マスクも用意して、マスクの着用を徹底しました。礼拝後には食事会も無くし、他の会議もなく、すぐに帰宅します。礼拝に伴う問題は、礼拝に60%の信徒だけ参加すること、最善を尽くして安全な環境を整えても、それでも感染の危険性を抱えている点です。

今後の対策として、信徒たちに毎日送る聖書黙想を持続させ、水曜礼拝と金曜祈禱会はオンラインにしています。

教会の財政は信徒たちが熱心に献身していただいて、支出を調整しながら対処しています。何より信徒に会いたいです。

関東地方会 品川教会

姜 章植 牧師

3月にコロナ事態が始まって以来、1部日本語礼拝、2部韓国語礼拝は継続しながら、YouTubeチャンネルのオンライン礼拝中継を勧めましたが、教会周辺の何人かの信徒は教会に集まり、愛餐会の交わりも中断することはありませんでした。少人数が参加する早天祈禱会と水曜礼拝は続け、教会学校は礼拝の動画を編集制作し、各家庭で礼拝するようにしました。

そんな中、教会での礼拝と交わりを慕う信徒が増え、現在は約80%の信徒が教会礼拝にマスクをして参加しており、1、2部礼拝のオンライン中継を継続しているほか、教会学校も教会での礼拝をオンライン中継し、御言葉と教会中心の信仰生活を送るよう励ましています。

地域宣教活動であるこども食堂は、お弁当の持ち帰りに変更し、文化宣教活動等と聖書の勉強会は全て中止していましたが、9月からはマスクをつける条件で各会を再開しました。今年は教会創立60周年行事（全信徒修養会、講演やコンサートなど）をキャンセルする痛みもあり、多くの信徒が教会に来られない困難もありましたが、小グループとオンラインを用いた交わりと信仰活動が活性化され、教会は活気を取り戻しています。

防疫と消毒を優先することで消極的ではあるが礼拝と聖書勉強、地域社会奉仕が縮小された規模でも続いているし、教会が安全に守られていることに感謝しています。

中部地方会 大垣教会

蔡 銀淑 牧師

礼拝をどのようにするか諸職会を通して信徒たちの意向を尋ねたところ、どうしても礼拝は捧げたいという気持ちが強かったので集まって礼拝を捧げることにしました。礼拝後の愛餐は中止し、教会の防疫と社会的距離を置くことに万全を期しながら、礼拝を捧げました。6週間程愛餐無しで礼拝だけささげましたが、イースターには共に食事しながら復活の喜びを分かち合い、それぞれの隣人に与えるイースターエッグも分けました。愛餐は5月連休後に再開しました。

主日礼拝以外の活動では、月2回の三浦綾子読書会は休まず続けました。教会のご近所の方々と交わりである茶話会とハンゲル教室は二ヶ月休み6月から再開しました。

大垣教会が防疫と社会的距離を置くことに気をつけながら従来通り礼拝を捧げることができたのは、教勢が小さく、大垣地域でのコロナ感染者の発生が多くなかったからです。しかし、

何事にも気を使い、注意をしなければならないことへの疲労感 はドンドン増してきます。一日も早くコロナが終息され、明るく楽しい気持ちで礼拝をささげ、互いの温もりを感じる交わりが持てる日が来ることを祈ります。

関西地方会 京都東山教会

李 承厚 牧師

4月から6月まで主日の日本語礼拝と韓国語礼拝は、LINEを用いたオンライン礼拝を捧げていましたが、7月からは、オンライン礼拝と礼拝堂での礼拝を並行しています。現在、コロナ以前より、もっと多くの信徒たちが礼拝に参加していることに感謝しています。そして教会の財政は信徒の皆様のご一生懸命な献身によって、通常より20%増加しました。長い間、教会に出席していない信徒たちを訪問して慰め、励ましています。

平日に黙想した御言葉を、LINEで送ってお互いに恵みを分かち合っています。しかし、長い間一緒に礼拝を捧げないことによって共同体意識に欠ける現象が現れ、オンライン礼拝に依存しようとする傾向が現れました。コロナ以降の対策として、オンラインを活用した礼拝、祈禱会、交際などができるように準備しています。しかし、何より、教会はコロナウイルスの発生についての責任感を持って、謙遜に悔い改め、再び福音的な教会に戻らなければいけないと思います。

西部地方会 三次教会

李 相徳 牧師

4月、三次市のクラスター発生と同時に4月12日～5月24日まで礼拝を休みました。この時期は、週報を家庭礼拝ができるような(説教文を含む)形に変えて、各信徒家族に配りました。

5月31日(ペンテコステ)～現在まで礼拝を行っています。食事やゲームなどのプログラムは行わず、主日礼拝のみを聖餐式なしに守っています。

礼拝に来る人は、マスクを着用して消毒ジェルを手につけることが求められます。司会者や説教者が立つ講壇にはマスクをかぶらずに語れるように、アクリル板が設置してあります。礼拝出席は強要せず、不出席信徒には週報と説教文を午後、渡しに行きます。

西南地方会 宇部教会

李 恵蘭 牧師

コロナのために対面礼拝を自粛する中、宇部市には感染者が出てない状況だったため毎週日曜日の礼拝、水曜日の礼拝も守られました。年輩の方が多い中でオンラインなどの礼拝は困難な教会の事情を考えると、会堂の礼拝を守ることは大きな恵であります。多くの教会の信徒の皆様が会堂での礼拝が守れず切なく祈っていることを覚えて共に祈っております。

信徒の皆様はマスクをかけ、消毒し、講壇の前にフェイスシートも設置しております。礼拝を終え、皆帰った後にはすべてを消毒し、防疫を実施しております。

何日前、宇部にも感染者が出ましたが、礼拝は変わりなく守っています。

財政的には前任牧師の引退後6名の信徒が教会を離れて予算が半分くらいに減っています。伝道の道も狭いとのこと。宇部は生産的都市でもなく、若い世代ばかりではなく人口が減少していく田舎であります。それによって教会の課題は伝道する量的なりバイバルと又、収入源がない信徒である現実で献金の減少を如何に知恵を持って対策できるかということです。重ねてオンラインなどの映像礼拝の準備の課題もあります。

カナダ合同教会から支援金 キャピタルプロジェクト支援金として

日本宣教にカナダ合同教会(UCC)は、日本にある財産を整理し、つながりのある教団や機関、団体などに支援金を分けて与えることになった。KCCJにはキャピタルプロジェクト支援金として24,000,000円が与えられることになった。(参考)RAIKに14,000,000円、マイノリティー宣教センター 42,000,000円)

これは、そもそも現総幹事になって間もない頃の2013年11月、UCCの財務関係者が訪れ、日本キリスト教協議会、日本基督教団、KCCJの総幹事に、「UCCは向後10年の間に日本にあるUCCの財産を整理し、関係教団、機関、団体などに分配して与える。但し、開拓伝道や教会堂の建築などではなく、教会がなすべき社会的な宣教活動、弱者のための活動、そのための人材育成などに使ってほしい」との話があった。

それから7年目に私もKCCJにも、向後3年間に分けてこの大きな金額が与えられるということになった。

そして、この支援金交渉会議にあたり、この支援金を使う計画を提出するように要請され、以下のような計画書を提出し、承認された。

※向後10年、以下の事業に使う。

(1) 次世代人材育成のために：800万円

将来、在日大韓基督教会を荷っていくエキュメニカルなマインドや神学をもつ人材を育てるために、特に海外への語学研修、エキュメニカル機関へのIntern Program参加と留学のために。

(2) 「韓/朝鮮半島の和解と平和を祈る韓・朝・日キリスト者会議」のために：800万円

在日大韓基督教会は1989年から(北)朝鮮キリスト教連盟(KCF)と交わりの中、韓国教会とKCFとの出会いの場所をこの日本で開催してきた。(1991年～2002年、8回)

第9回目を計画している。韓国、KCF、日本教会、KCCJが共に朝鮮半島の和解と平和のための取り組みを2年～3年おきに行

う。

(3) 教職者の継続教育のために：500万円

変化していく教会の状況や神学の流れの中、教会を牧会する教職者の教育と訓練が必要である。教職者1人が5年に1回、義務的に継続教育プログラムに参加する。

(4) 諸エキュメニカルプログラムのために：300万円

在日大韓基督教会が主催する宣教協力教団との宣教的プログラムのために。

宣教協力教団から呼びかけられた宣教的プログラムへの人材派遣のために。

朴憲郁牧師が 書籍を出版

東京神学大学で25年間教授として神学教育に携わり、今年3月に定年退職した朴憲郁牧師が、この度「現代キリスト教教育学研究—神学と教育の間で—」という書籍を出版した。

現代キリスト教教育学研究
神学と教育の間で

朴 憲郁
Park Heon-Wook



東京神学大学で25年間キリスト教教育学専攻 特講を講じた多くの神学生を導きの間に出版した著書に基き、現代キリスト教教育学、キリスト教神学、教育思想、人間形成など多岐にわたる観点からキリスト教教育学を論じた精進論文集。(1冊 1,500円)

公 告

利害関係者及び信者各位

本法人は下記の不動産を担保に、教会堂新築にかかる費用として、下記金融機関より融資を受けることを公告します。

●土地 神奈川県川崎市桜本一丁目8番22 421.90㎡

●鉄筋造陸屋根 4階建

●金融機関 川崎信用金庫 大島支店

●融資金額 3億5千万円

2020年8月30日

在日大韓基督教会川崎教会 李明忠

2019年度 青年会全国協議会 夏季修養会 感想文

「全てを超越する神様の愛」

柳 町 聡 (青年会全国協議会渉外部)

<逆境からの出発>

2020年8月8日土曜日、在日大韓基督教会 横浜教会を起点とした青年会全国協議会(全協)主催の夏季修養会が行われた。日本、韓国、そしてドイツという遠い第3国を含め38人もの青年と2名の牧師先生と共に行われた。今回は現在進行形で世界中にて蔓延している新型コロナウイルスの影響の為、ZOOM(インターネット媒体)を介し、例年とは全く異なる修養会であった。このような状況で修養会準備期間中、手探りの状態で私たち役員8人は不安や焦りの中、ひたすら祈りを通して準備し、当日を迎えた。

<逆境の中でも光り続ける遺産、“御言葉”>

私たち役員の心配はとほよそに、修養会では牧師先生たちを通して学んだ御言葉を通して“兄弟愛”について多くの事を話し、多くの事を共有できた大変意義の深い時間となった。短い時間の中、役員1人につき青年5人が1グループとなり兄弟愛について話し合う時間は、自分にとっても信仰の原点に戻り自分を見つめなおす時間となった。特にユダを通して新しい律法を与えられたイエス様(ヨハネ13:31~35)の御姿を見返し、私たちは“愛”だけでは足りない、“救し”という我々クリスチャンにとって原点でもあり頂点でもある部分

を学べた喜び溢れる時間となった。

<逆境の中でも受け継がれていく遺産>

最後になってしまいましたが、大変な状況下でも参加して下さった青年たち、常にお忙しい中でも修養会で御言葉を述べられた横須賀教会の金迅野牧師、横浜教会の李明忠牧師に心からお礼申し上げます。そして誰よりも、十字架の上で究極の生贄を捧げられた、愛する全能なる救い主イエス様。イエス様の愛を今も受け継ぐことのできる時を感謝いたします。御名が崇められますように。御名が褒めたたえられますように。

